

# 目次

## 序論

第1章	統合失調症の過去・現在・未来	岡崎祐士	3
第2章	当事者・家族から見た統合失調症		8
	I 統合失調症患者から	竹内政治	8
	II 統合失調症の母親をもって	中村ユキ	11
	III 統合失調症になってもだいじょうぶな社会を願って	岡田久実子	13
	IV 災害の現場から見た統合失調症の保健・医療・福祉のあるべき姿	門脇裕美子	16
	V 家族と精神科医の双方の立場を経験して—統合失調症治療の在り方について考える	夏苺郁子	19
	VI 統合失調症の基礎知識—診断と治療についての説明用資料	福田正人	25
第3章	統合失調症の多様な側面		37
	I 対人関係の病としての統合失調症	村井俊哉	37
	II 臨床から出発する病因探索	糸川昌成	42
	III 統合失調症：脳と生活と思春期発達の交点	笠井清登	51
	IV 発達精神病理としての統合失調症—脳と生活と言葉	福田正人	59

## 第1部 統合失調症の概念

第4章	歴史と概念の変遷	古茶大樹	69
第5章	症候学	針間博彦	80
第6章	診断分類と統合失調症の異種性	住吉太幹	94
第7章	病因と病態モデル	橋本亮太	103
第8章	疫学	安藤俊太郎	115
第9章	経過と予後	伊藤順一郎, 吉田光爾	128
第10章	回復過程論	小林聡幸	143
第11章	統合失調症の関連病態		149
	I 非定型精神病	山内繁, 康純	149

II	小児の統合失調症	松本英夫	155
III	遅発性統合失調症	仁王進太郎	161
IV	緊張病	大久保善朗	166

## 第2部

## 統合失調症の基礎と研究

第12章	脳の発生と発達	那波宏之	175
第13章	遺伝学, 分子遺伝学	山田和男	182
第14章	神経病理学	入谷修司	187
第15章	死後脳研究	池亀天平, 岩本和也	197
第16章	ブレインバンク	富田博秋	202
第17章	神経生理学	鬼塚俊明, 角田智哉	207
第18章	神経化学	橋本隆紀	215
第19章	精神薬理学	佐藤靖, 古郡規雄	226
第20章	動物モデル	大西哲生, 吉川武男	234
第21章	脳構造画像研究	鈴木道雄	244
第22章	脳機能画像研究	小高文聰, 須原哲也	253
第23章	神経心理学	住吉チカ	259
第24章	統合失調症の自我障害の認知科学	前田貴記, 沖村宰	275
第25章	精神病理学	深尾憲二郎	281
第26章	力動精神医学	衣笠隆幸	291
第27章	社会精神医学	中根秀之	301
第28章	コホート研究	西村幸香	312
第29章	早期精神病の研究	小池進介, 笠井清登	322
第30章	統合失調症と病跡学—創造性との関連	高橋正雄	330
第31章	障害論—障害概念と地域福祉システム	白石弘巳	336
第32章	統合失調症の臨床研究のあり方	西村幸香	343

## 第3部

## 統合失調症の診断と評価

第33章	診断と症状評価	江畑敬介	351
第34章	鑑別診断の進め方	太田敏男	367
第35章	構造化面接	松長麻美, 北村俊則	382
第36章	精神症状の層的評価—人間学的精神病理学の立場から	濱田秀伯	388

第37章	症状評価尺度	宮田量治	398
第38章	身体所見の評価	秀野武彦	412
第39章	脳画像評価	高畑圭輔, 三村將	422
第40章	認知機能の評価	兼田康宏	430
第41章	生活機能, QOL, 作業・労働能力の評価	岩田和彦	440
第42章	ハイリスク・病前特徴・パーソナリティ評価	山崎修道	449
第43章	自殺リスクの評価	林直樹	457

## 第4部

## 統合失調症の治療

4-1	治療計画策定		465
第44章	治療計画の立て方	池淵惠美	466
第45章	病期ごとの治療の進め方	渡邊博幸	478
4-2	統合失調症の治療総論		487
第46章	EBM と治療ガイドライン	後藤雅博	488
第47章	薬物療法	藤井康男	503
第48章	電気けいれん療法とその他の身体療法	上田諭	522
第49章	精神療法	原田誠一	530
第50章	対話のための工夫と守るべきこと	岩尾俊一郎	540
第51章	心理社会的治療・社会資源	大島巖	547
第52章	認知行動療法	山崎修道	552
第53章	生活臨床—指向する課題の達成支援を中心とした働きかけ	長谷川憲一	559
第54章	多職種チーム医療	野中猛	566
第55章	患者家族への見方の変遷と家族支援	伊勢田堯, 長谷川憲一	572
第56章	サービスモデル—各国での取り組み	山崎修道	582
第57章	サービスモデル—日本での取り組み	渡邊博幸	588
第58章	病名告知	下寺信次	594
第59章	リカバリー	伊藤順一郎, 福井里江	597
第60章	スティグマと啓発活動—インターネットにみる現状と対応	武原信正	605
第61章	当事者研究	向谷地生良	613
4-3	早期診断と早期介入		627
第62章	病期モデル	荒木剛	628
第63章	前駆期	松本和紀	633

第64章	初回エピソード統合失調症	林田雅希	640
第65章	DUP 短縮のための方法論	辻野尚久, 水野雅文	645
<b>4-4</b>	<b>臨床上の諸問題</b>		<b>651</b>
第66章	精神科救急—マクロ救急を中心に	和田央	652
第67章	身体合併症	堀川直史	658
第68章	退院支援と地域移行	安西信雄	667
第69章	治療抵抗性	久住一郎	673
第70章	高齢期の統合失調症患者の問題	井藤佳恵, 粟田圭一	678
第71章	妊娠・出産	古郡規雄, 兼子直	685
第72章	患者の攻撃性・暴力への対応	八田耕太郎	690

第5部 **法と精神医学**

第73章	司法精神医学	五十嵐禎人	699
第74章	関連法規	平田豊明	708
第75章	触法行為と精神鑑定	岡田幸之	717
	索引		727